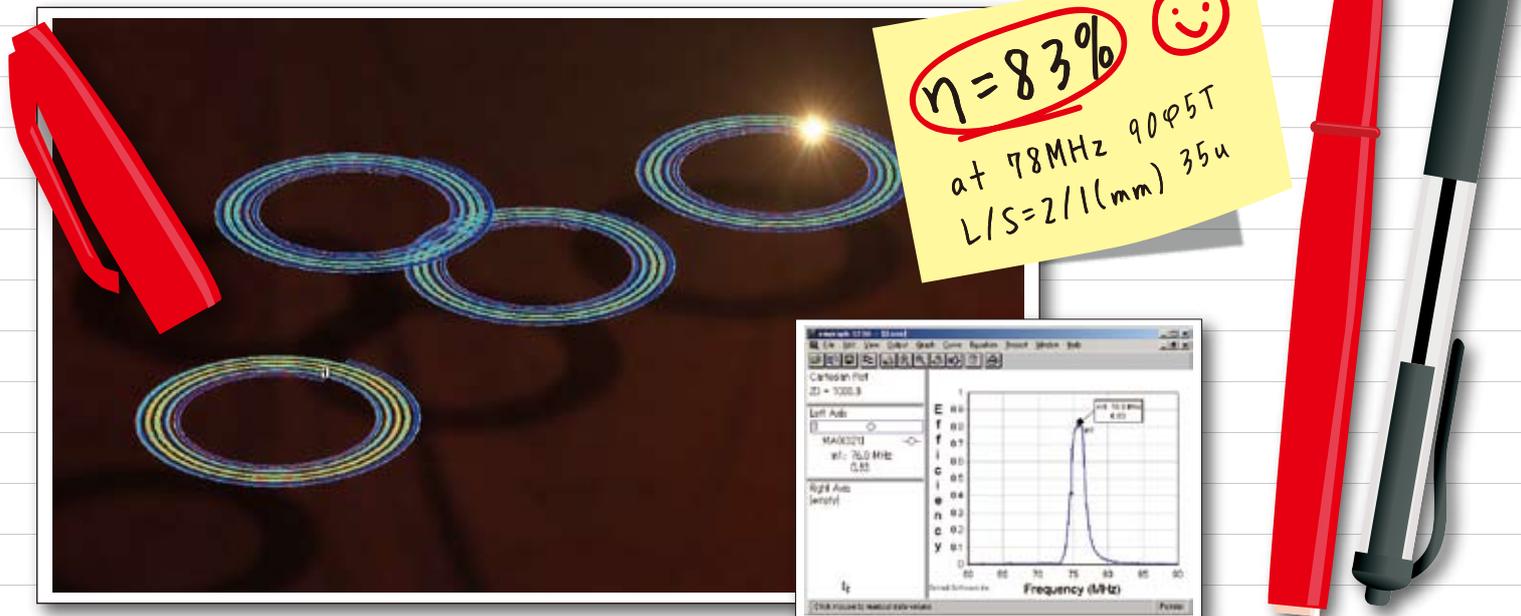


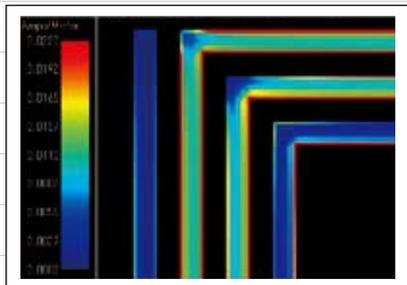
ワイヤレス給電システムに!

平面3次元電磁界シミュレータ 約300万円



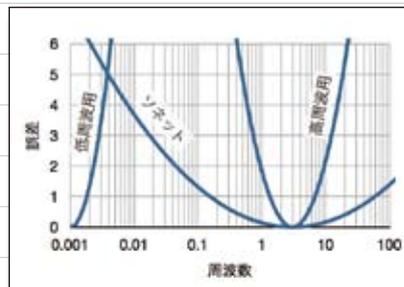
ソネット社の平面3次元電磁界シミュレータは、電磁共鳴方式のワイヤレス給電システムの各アンテナの自己共振周波数、損失、Qなどの等価回路素子、アンテナ同士の相対位置と結合係数の関係、そして任意の負荷条件における中継アンテナも含めた送受アンテナ間の電力伝送効率を求めることができます。

✓ 平面導体に適している



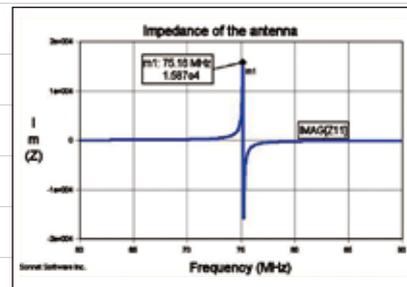
電磁共鳴方式の性能はQで決まります。特に導体損失はQに大きく影響します。ソネットの解析手法はプリント基板上のエッチングや、印刷工法による平面構造の導体の損失の予測に適しています。

✓ 広帯域で使用できる



電磁共鳴方式の周波数は高周波用シミュレータには低すぎ、かといって低周波用シミュレータでは寄生成分を正しく求められません。ソネットはMHz帯からマイクロ波まで広い周波数帯域で使用できます。

✓ 鋭い共振を見逃さない



電磁共鳴方式でアンテナの共振周波数を把握することは設計の第一歩です。ソネットの周波数スイープは他の電磁界シミュレータよりずっと早く、しかも鋭い共振を見逃しません。

■ **世界に認められた実績** 米国ソネット社のシミュレータは、1983年以来世界中のマイクロ波回路とアンテナの研究開発に使われてきました。この業績により社長のJ.Rautioは、IEEE(米国電気電子技術者協会)のMTT-S(マイクロ波理論と技術部会)から2000年にFellow、2001年にはMicrowave Application賞を受けました。